

平成29年度 第6回生駒市行政経営会議

案件1 都市構造に係る現況評価と将来課題について（報告）（都市計画課）

〈概要〉

平成29年7月から10月にかけて実施してきた都市構造現状把握等庁内検討会の報告を行うもの。報告概要は以下のとおり。

- ・人口減少・少子高齢化の更なる進展が見込まれる中、都市のコンパクト化、財政面・経済面の持続可能性を踏まえた都市構造の現況と課題について、2015年と2040年を比較し検討した。
- ・検討にあたっては、国土交通省の「都市構造の評価に関するハンドブック」、国立社会保障・人口問題研究所の人口推計等をベースに、地図上に500メッシュで色分けするなど、極力、可視化した資料を用意し実施した。
- ・評価指標と指標値については、上記ハンドブックに則り算出したものや国土交通省近畿地方整備局の「近畿コンパクトシティガイダンス」のもののうち、数値利用が可能なものを利用した。
- ・都市構造という切り口から市全体で検討を行ったことにより、人口減少時代を迎えるにあたり、一層の横断的連携を考慮した都市経営の効率化、都市構造と健康増進の連携施策の構築、人口密度低下・年齢構成の変化といった地域特性を視野に入れた細やかな対策などの必要性について、共通認識を持つことができたと思っている。
- ・今後は、係長級を対象とした周知の場を設けるとともに、次期都市計画マスタープランの基礎資料とすることとしている。

〈会議での結論〉

—

【主な意見】

- ・指標をはじめ、今後の進行管理はどうするのか。

→今回の指標は、国土交通省近畿地方整備局の「近畿コンパクトシティガイダンス」のものをそのまま使っている。この検討は進行管理を要するようなものではないが、新たな人口推計データへの置き換えなど、順次適宜指標値の時点更新は必要と考える。また、総合計画や都市計画マスタープランの目標指標にそのまま引用するものではない。

→今回の検討会の意義の一つに、メッシュを用いた人口分布図を利用したことが挙げられる。可視化したものをここまで作成し活用したことは、これまでなかった取組だ。今回の報告が最終ではなく、総合計画や都市計画マスタープラン策定の参考になればと思っている。

案件2 個別施設計画の策定について（総務課）

〈概要〉

国は、平成25年11月にインフラ長寿命化基本計画を策定し、生駒市は、平成28年3月に生駒市公共施設等総合管理計画を策定している。この度、総務省作成資料に

よると、平成32年度(2020年度)までに、個別施設計画の策定が必要となるため、個別施設を所管する所属に計画策定を依頼するもの。概要は以下のとおり。

- ・生駒市公共施設等総合管理計画では公共施設を用途別に分類し、大分類12、中分類18、インフラ施設を4分類に分けている。各施設管理者が個別計画を策定することを想定している。

- ・計画で定める基本方針は、①長寿命化の推進②公共施設等の適正配置③民間活力の導入である。

- ・既に同種・類似の計画を策定している場合には、当分の間、当該計画をもって、個別施設計画の策定に代えることができる。

- ・地方債措置の観点からは、平成29年度に「公共施設等適正管理推進事業債」が創設され、平成33年度(2021年度)までの間、個別施設計画に基づく集約化・複合化事業や、転用事業などに対し、交付税算入のある有利な起債が設置されている。

〈会議での結論〉	了承
----------	----

【主な意見】

- ・このことは各部は認識しているのか。

→すでに国から通達がある所管においては認識を持っておられると思うが、そうでないところもあると思っている。

- ・全体把握及び調整は総務課が行うのか。

→はい。

案件3 その他

生きいきクーポンの使途に関するアイデア募集について(高齢施策課・障がい福祉課)

〈概要〉

平成30年度のクーポン券事務局をプロポーザル方式等により選定し、3月初旬を目途に契約を締結したいと考えているところ。高齢者・障がい者等の生活行動範囲の拡大と社会参加の促進及び健康維持・増進、要介護者の福祉の増進などを図ることを目指した制度であることを踏まえ、より良い制度にするために広くアイデアを募集するもの。

【主な意見】

- ・締切はいつか。

→1月中にお願いしたい。

- ・「スルッとKANSAI」販売終了に伴う近鉄の利用が不便になったことに関する市民の声が多い。市民が使いやすいと思うクーポンにできたらと思う。